

<仲良く遊ぶとは・・・>

大人は、よく「仲よく遊ぼうね!」と子どもたちに伝えます。

仲よく遊ぶということはどういうことでしょうか?考えたことはありますか?

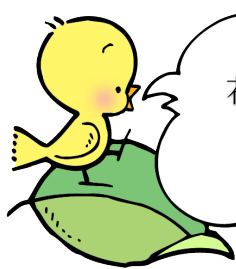
喧嘩をしては、いけませんか?物の取り合いをしてはいけませんか?

喧嘩をするということは、相手のお友だちに興味があるからです。そして、自己主張できるようになってきたからです。自己主張できる場所は、大切です。お友だちに興味があるので、お友だちが使っている物が使いたいのです。だから、横取りが始まります。そこも自己主張です。使いたいと主張することが大切です。使いたいと自己主張することで、お友だちが泣いてしまったり、一緒に遊べなくなったりします。最初は、一人遊びです。十分に一人遊びができないと、友だちとも遊べません。自分の遊びができることが先決です。自分の遊びが守られると、お友だちに目が行くようになります。そばにいと楽しい、一緒に遊んでいると楽しいという思いからそのお友だちと一緒に遊ぶためにはどうしたらよいか、考えます。そこにルールが出てきます。初めて、ルールの必要性を感じます。大人が、「貸してって言ってからだよ」と形だけ伝えるよりもルールの必要性を感じて、ルールを作って、ルールを守って遊ぶ方がしっかりと守れます。順番を守ることも同様です。

最初は、誰でもルールは守れません。守れないところからのスタートです。

そこには、年長児のアドバイスがあるかもしれません。小学生の悟りがあるかもしれません。

全てを通して共に育ちます。大人も子どもも共に育ちあいましょう。



花見 明音ちゃんは、
7月31日付
退室しました。



基本保育時間は、
7:30~18:30です。

7:00~7:30、
18:30~19:00
の利用の場合は、
お知らせください。

《お知らせ》

新しい保育者が8月1日付で就任しました。

井上 清子先生(保育士)

猿川 由維(保育補助)

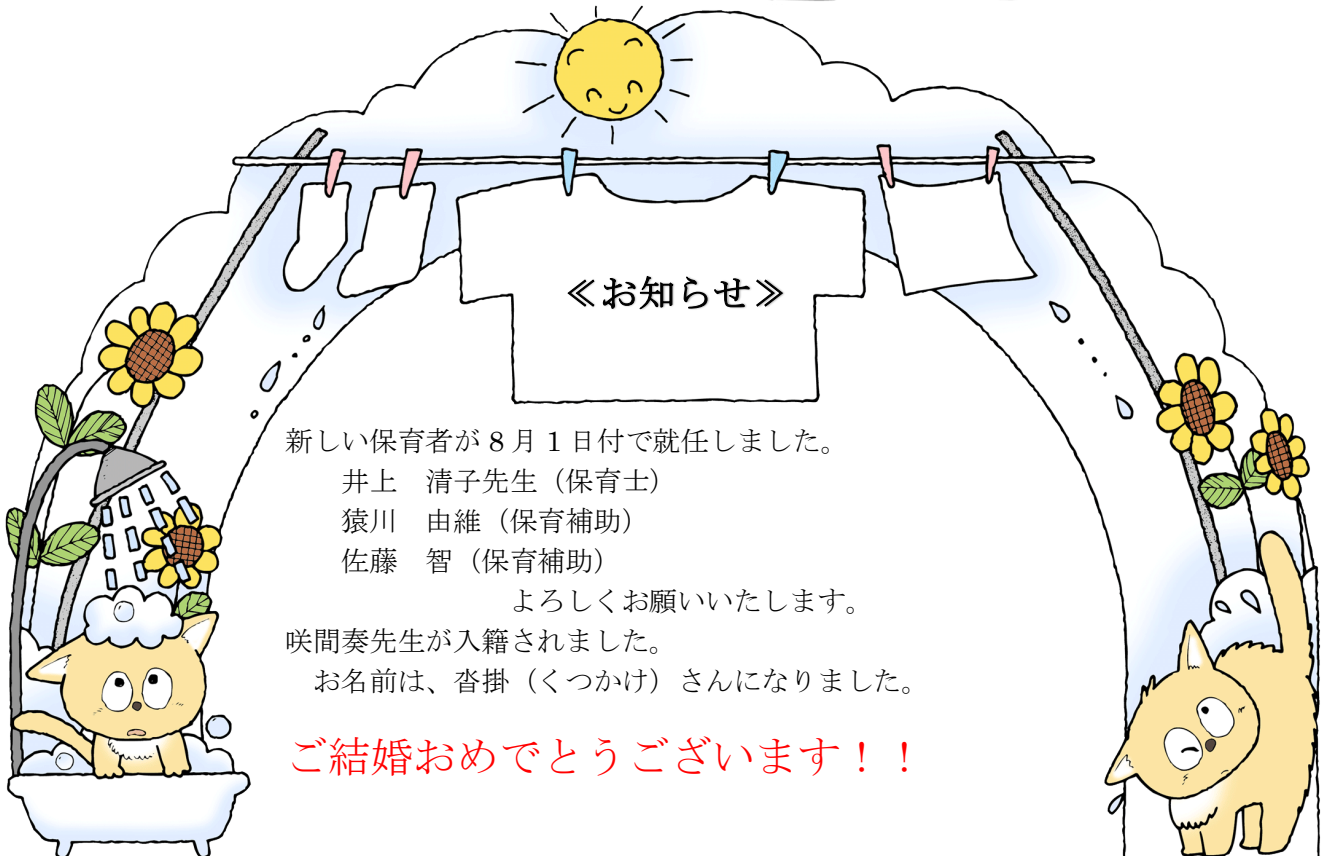
佐藤 智(保育補助)

よろしく願いいたします。

咲間奏先生が入籍されました。

お名前は、杓掛(くつかけ)さんになりました。

ご結婚おめでとうございます!!





<遊びの始まりは、壊すことから>

子どもたちの遊びは、作り上げること・・・完成・・・を大人は求めますが、遊びのスタートは、『壊す』ということからです。積み木を高く積んでいると崩す、砂場で山を作っていると足で踏んで壊す、光景をよく見かけると思います。物の性質を知るために、壊すという行動は大切なのです。たくさん、壊してみてもそのものの構成を知り、そこから始めて作る行為になっていきます。ドライバーを持って、掃除機を分解する、プラレールの新幹線を分解するという行為は、大切な活動なのです。そこで、満足するまでその活動をさせてあげること、大切な活動だとわかって認めてあげることができるかどうかで、次の作るという活動に移行し、作ることを楽しむことができるかが決まってきます。Rくんが、掃除機を分解する様子をじっと見ていたTくん。自分もその材料に触れると、早速分解してみる。子どもたちは、よく見ています。いちいち大人が干渉しなくても、自分の力でやっていきます。わからなかったら聞けばいい。できなかつたら手伝いをお願いすればいい。自分一人ではできないときの対応もここで学んでいきます。



虫の季節になってきました。バッタ・カブトムシ・カタツムリ・アリ・カエル・・・ 子どもたちは、興味津々採ることに集中します。沢山採ることに目標がある時期があります。虫と戯れたい時期もあります。生態を知りたい時期もあります。飼育したい時期があります。大人も昔は、みんなやってきました。トンボの羽をとって胸につけてみたり、カブトムシの角にひもを付けてみたり、カエルと解体してみたり、でも、その時のことはもう忘れてしまってます。思い出してください。その時のこと、その時に感じたこと、体験したこと、学んだこと。その時期をちゃんと過ごしたから、今があります。虫たちには申し訳ないのですが、命の大切さを伝える良い機会です。「虫で遊んではいけません。生きているんだから」と教え込むより、虫とちゃんと戯れて、向かい合って自分で虫の命を知ることの方が尊いのです。すべてを禁止してしまうのではなく、一緒に虫たちの命を考えていきましょう。そのことは、友だちを大切にすることにつながっていきます。

私たちは、魚を食べます。肉を食べます。魚や豚・ニワトリ・牛を殺して食べているのです。そのこともこの時期に子どもたちに伝えなければいけません。人間の為に命を犠牲にしてくれている動物がいること、動物だと命をととても感じますが、作物も同じです。だから「いただきます。(命をいただく)」感謝して食べることを伝えたいと思います。生まれる、生きる、育つ、大切に・・・動物たち、虫たち、植物から教えてもらう大切なことです。

命の大切さを伝えるために、魚を手づかみで採って焼いて食べる。という活動をしたいと思っています。昨年、お泊り保育の中で経験しています。今年もお泊り保育を考えていますが、新型コロナウイルス感染症の状態、子どもたちの状態をもう少しみて、考えていきたいと思っています。

年長児には、自立をする機会としてお泊り保育は経験してほしい活動の一つです。目的を持ってお泊り保育をしていきたいので、時期も定まっていません。決まるまで内緒にしてください。その都度、様子はお知らせいたします。

昨年は、『夜の空中散歩散』をするために、お泊りに行きました。今年のテーマは、まだ手探りです。

